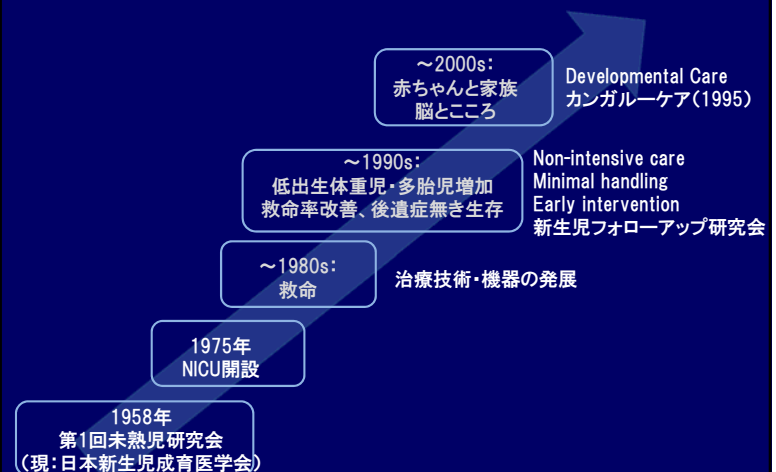


赤ちゃん和家人の あたたかなところを育む 発達ケア(デベロップメンタルケア:DC)



聖隷クリストファー大学・大学院
NBAS研究会
DC研究会
大城 昌平

我が国の新生児医療とDCの歴史



話の内容

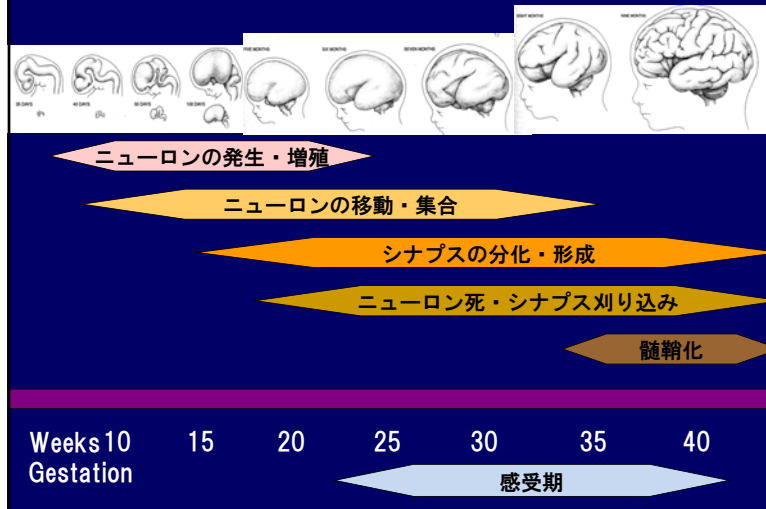
I. DCの理論背景

II. 低出生体重児のDCの実際

I. DCの理論背景

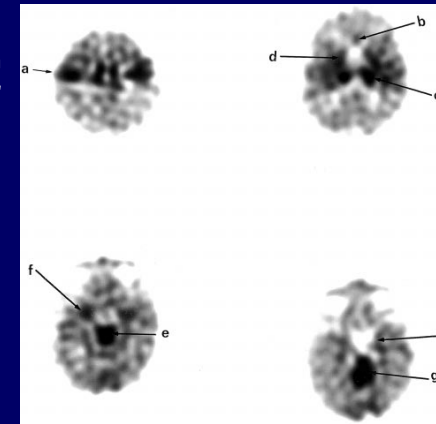
- ①神経系(脳)の発達
- ②赤ちゃんの行動と発達
- ③赤ちゃんのこころの発達

①神経系(脳)の発達



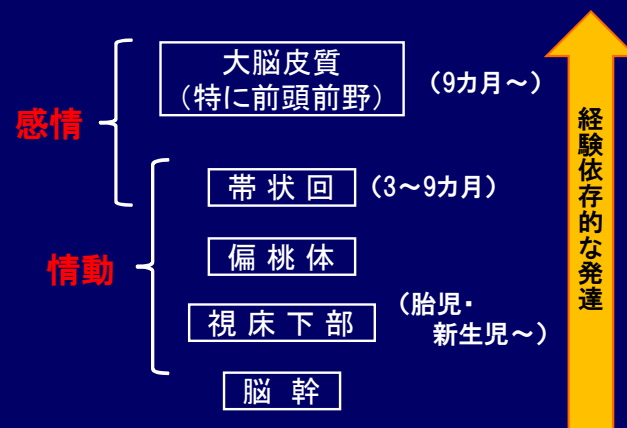
●新生児の 脳活動測定

ー感覚と情動ー



(a) 感覚運動野, (b) 帯状皮質, (c) 視床, (d) 基底核, (e) 脳幹, (f) 内側側頭領域, (g) 小脳虫部で活動(グルコース代謝)が高く, 前頭・側頭・頭頂・後頭皮質および小脳皮質で活動が低い. (Harry T. Chugani. *Biological Basis of Emotions: Brain Systems and Brain Development*. Pediatrics 1998, 102, e1225)

●皮質下ー皮質機能の発達



(Modified from ALLAN N. SCHORE. EFFECTS OF A SECURE ATTACHMENT RELATIONSHIP ON RIGHT BRAIN DEVELOPMENT, AFFECT REGULATION, AND INFANT MENTAL HEALTH)

②赤ちゃんの行動と発達

T. Berry Brazelton

- ・フロイド(Freud): 刺激障壁 stimulus barrier
- ・マラー(Mahler): 正常自閉
- ・ロック(Locke): タブララサ(白紙)
- ・反射行動

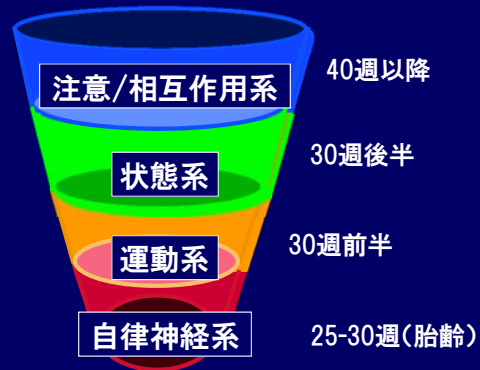


●新しい乳児の発達観

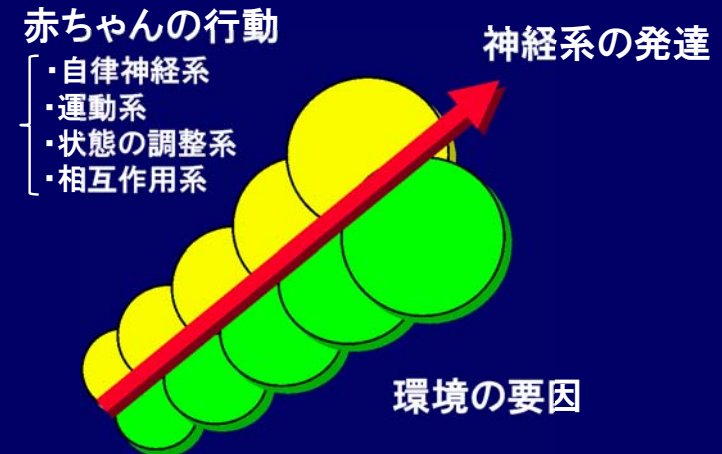
- ・生得的な行動能力、強さ、相互交流
- ・行動の定式化 (自律神経系・運動系・ステート・相互作用)
- ・相互交流と互恵性
- ・個性

赤ちゃんは生まれた時(前)から個性を持った社会的存在

● 新生児行動の4つの行動系と発達



● 発達の3つの推進力



③ 赤ちゃんの心の発達

- 間主観性 (intersubjectivity)
(Trevarthen)
- 赤ちゃんはこころを読む:
無様式知覚 (D. Stern)
- 生得的な模倣(シミュレーション)能力
(Meltzoff AM & Moore MK)

● 情緒・認知・社会性の発達

- ・ 養育者の感受性豊かな応答性が乳児の情緒、認知、社会性の発達の促進する(Bowlby)
- ・ 母親と乳児は誕生直後から情緒の相互作用に従事し、乳児は養育者の情動状態を共有したり、順番に対話したりして、対人的な社会的交流に貢献する(Brazelton)
- ・ 乳児の情動表出に対する養育者の「鏡映化mirroring」あるいは「強調された応答」が社会-情動発達において重要である(Stern)
- ・ 養育者の情動鏡映が乳児の情動表現を顕著に、また知覚的に明瞭に反映しながら繰り返されると、乳児は明瞭に情動に気づきだし、その情動を調整することを次第に学習する(Legerstee)
- ・ 感受性豊かな母親は、その状況にふさわしい情動を鏡映し返すことで、乳児は自分自身の情動状態を母親の情動状態と区別し始め、次第に他者の情動と同時に自己概念の理解を発達させる(Reed)
- ・ 情動鏡映の欠如が社会性や認知の発達を阻害する(Seligman)

Ⅱ.低出生体重児のDCの実際

●DCの概念的枠組み

1. 発達の3つの推進力:脳—環境—行動
2. 家族中心のケア(family-centered)
3. 赤ちゃん-家族-スタッフの共同
(relationship based)
4. 個別性:行動観察に基づくケアの実践
(individualized)
5. 強み(自己調整行動)を引き出すケア
(strength-focused)

1)赤ちゃんの行動とケア

- 行動で語る
- 自己調整行動に注目する

2)早産児の疼痛緩和

- ・NICUでは、採血・血管確保・チューブ挿入・吸引・眼底検査など、様々な痛みを伴う処置が実施される
- ・NICU入院後2週間で平均10~14回/日
- ・痛みの緩和は十分実施されていない
Carbajal, JAMA 2008
Simons, Arch Pediatr Adolesc Med 2003
- ・超低出生体重児が8~10歳になった時、痛みを描いた絵(ADLとREC)を見たときの情緒的反応の程度は入院期間に相関
Grunau, J Child Psychol Psychiat 1998
- ・早産児が新生児期に痛み関連のストレスを多く受けると、修正18か月および7歳での内在化問題行動(不安や抑鬱)が多い
Vinall, Pediatr Res 2014; Ranger, Pain Manag 2014
- ・早産児(26.8±1.8週)では、痛い処置にさらされる回数の多さは前頭部および頭頂部領域の脳容積低下と関連
Smith, Ann Neurol, 2011
- ・痛みを多く経験した早産児では、白質および皮質下灰白質の成熟度が低下
Brummelte, Ann Neurol 2012

3)家族を中心としたケア

(Family centered care;FCC)

- ・「希望の赤ちゃん」、「恐怖(不安)の赤ちゃん」、「現実の赤ちゃん」。「現実の赤ちゃん」を受け入れられるよう支援が必要です。
(Kevin Nugent)
- ・NICUは、子どもの成熟・発達の過程と、親の傷つきが癒される過程の相互が影響する。共に過ごす時間と様々な支援が必要です。(橋本洋子)

⇒ しっかりと出会うこと、支えること

- ・カンガルー・ケアと授乳:わが子確かめ、母親であることを確かめる

4) 赤ちゃん・家族・スタッフの協働 ：親としての自信

●まとめ：低出生体重児のDCの提言

- ・情緒的環境：やさしさ、穏やかさ、あたたかさ
- ・赤ちゃんの行動を視点として、自己調整を支援するケア
- ・両親・家族との協働と段階的なケア参加の移行
- ・命を助ける場から、**家族の物語**を育む場へ
- ・赤ちゃんが一人の人間として育つために、NICUの**集中治療**と**DCは車の両輪**のようなものです
(gretchen Lawhon)